

第413回市（入札日 2018年2月23日）

ー ナラが全グレードで高値、メジロカバは引き続きやや低調 ー

出品量は3,815.7m³で前年同月比23%増の大量出品となりました。元落ち率は2.7%と売れ行きそのものは好調だったものの、出品量の多いナラが今月も高かった一方で、同じく出品量の多いメジロカバや、他の主要樹種も多くが下げたため、平均単価は42,611円/m³にとどまりました。

ナラはこのところ、突板用からフロア原板用まで、どのグレードも高値が続いています。今月も平均単価は65,276円/m³と、例年もっとも高い1月市にも迫る水準で、「こんな値が続くと商売にならない」というため息混じりの声が聞こえてくるほどでした。近年、ウィスキー樽材の需要増などのため、上位グレードを中心にナラの高値が続いていますが、最近になってフロア原板向けの買い付けが活発化しており、それが中～下位グレードの相場をさらに押し上げているとの見方が大勢です。

次回（第414回）は3月30日（金）、目標数量は3,000m³、ロシア産タモも出品予定とのことです。

○出品数量

官材・単 桧	562.8m ³	660桧	1,806本
官材・ロット	351.3m ³	53桧	2,074本
民材・単 桧	2,409.6m ³	2,788桧	8,090本
民材・ロット	492.0m ³	54桧	3,642本
計	3,815.7m ³	3,555桧	15,612本

（樹種別）

タモ256m³・857本、マカバ57m³・153本、セン289m³・872本、ナラ1,049m³・4,239本、ニレ80m³・203本、キハダ11m³・43本、クルミ39m³・179本、アサダ38m³・158本、ホホ62m³・295本、エンジュ22m³・234本、カツラ96m³・220本、ザツカバ162m³・614本、シュリ16m³・76本、イタヤ175m³・572本、サクラ32m³・152本、シナ293m³・1,312本、メジロカバ947m³・4,847本、ウォールナット34m³・26本、アオダモ6m³・29本、その他89m³・371本（広葉樹計3,755m³・15,452本）、イチイ6m³・75本、アカエゾマツ3m³・3本、クロエゾマツ15m³・14本、カラマツ37m³・68本（針葉樹計61m³・160本）

○販売数量 3,700.5m³（元落ち率2.7%）

○販売金額 1億5,768万円（1m³あたり平均42,611円（前回58,193円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	45,115円（72,691円）	キハダ	26,491円（44,226円）
マカバ	66,345円（269,070円）	カツラ	48,841円（32,183円）
セン	40,735円（74,687円）	ザツカバ	26,757円（35,806円）
ナラ	65,276円（65,748円）	メジロカバ	41,578円（50,900円）
ニレ	25,840円（23,846円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種およびイチイ・エンジュを除く。）

- ①441,900円（マカバ 2.6m、42cm、1本、0.459m³、民材（銅賞））
- ②439,900円（マカバ 2.6m、40cm、1本、0.416m³、民材）
- ③379,000円（セン 3.8m、64cm、1本、1.556m³、民材（銅賞））

2018年3月13日作成（嶋瀬）